

□ 第19回空気シンポジウム

「建築環境におけるウィルス・カビ等に関する最新の研究成果」

2009年世界でブタ由来の新型インフルエンザの爆発的な流行(パンデミック)が起きている。新型インフルエンザの病原体はブタ由来のA/H1N1であり、流行の防止にそのウィルス粒子の空中での挙動を明らかにし、的確な対策を施すことが極めて重要である。一方、従来型の微生物汚染に代表されるダニ・カビ汚染においては、近年、いわゆるダンプビルと居住者の健康影響について世界的に注目を集めている。本シンポジウムは、建築環境分野におけるウィルス、真菌、MVOCに関する最新の研究成果を発表し、微生物汚染対策における建築環境分野での対応について討議を行う。

記

- ◆主催 環境工学委員会 空気環境運営委員会
- ◆開催日時 9月8日(水)(建築学会大会前日)
 - ・シンポジウム: 13時～17時30分
 - ・懇親会: 18時30分(シンポジウム終了約1時間後)～
- ◆会場 金太郎温泉(富山県魚津市天神野新6000 TEL:0765-24-1220)
- ◆参加対象 研究者、大学院生、設備設計者、住宅ビルダー、行政関係者等の幅広い方々の参加を希望します。
- ◆プログラム*

1.	13:00～13:05 (5分)	開会の挨拶	○司会・近藤 靖史 (東京都市大学・空気環境運営委員会主査)
2.	13:05～13:10 (5分)	趣旨説明	柳 宇 (工学院大学・室内空気環境小委員会主査)
3.	ウィルスに関する最新研究成果の紹介		
3.1**	13:10～13:35 (25分)	医療施設の建築計画と感染制御の現状	笈 淳夫(国立保健医療科学院)
3.2**	13:35～14:00 (25分)	絶対湿度とインフルエンザウィルスの活性	倉渕 隆(東京理科大学)
3.3**	14:00～14:25 (25分)	インフルエンザ対策と空気-感染制御	田辺 新一(早稲田大学)
3.4**	14:25～14:50 (25分)	感染症対策としての紫外線殺菌(UVGI)と殺菌効果の評価	加藤 信介(東京大学)
3.5**	14:50～15:35 (各15分)	空気清浄機などによるウィルス対策の効果検証事例	香川 兼一(ダイキン工業), 山内 俊幸(パナソニック電工), 西川 和男(シャープ)
	15:35～15:45 (10分)	休憩	
4.	ダニ・カビ・MVOCに関する最新研究成果の紹介		○司会・柳 宇(前掲)
4.1**	15:45～16:10 (25分)	ダンプビルの室内環境と健康に関する全国調査	吉野 博(東北大学) 長谷川 兼一(秋田県立大)
4.2**	16:10～16:35 (25分)	微生物からの揮発性有機化合物(MVOC)の発生特性	鍵 直樹 (国立保健医療科学院)
4.3**	16:35～17:00 (25分)	反応拡散系モデリングによる真菌増殖予測	伊藤 一秀(九州大学)
5.	17:00～17:20 (20分)	全体に対する質疑・討論	柳 宇(前掲)
6.	17:20～17:30 (10分)	まとめ	池田 耕一(日本大学)

* 講演内容および講演者は都合により変更となる場合がありますので御承知おき下さい。

** 講演毎に5分間の質疑の時間が含まれております。

- ◆参加費用等 ①シンポジウム参加費＋懇親会＋宿泊
会員:18,000円 会員外:20,000円 登録メンバー:19,000円 学生:13,000円
②シンポジウム参加費＋懇親会
会員:13,000円 会員外:15,000円 登録メンバー:14,000円 学生:8,000円
③シンポジウム参加費
会員:5,000円 会員外:7,000円 登録メンバー:6,000円 学生:5,000円
- ◆定員 120名(定員になり次第、締め切ります。)
- ◆申込方法 7月30日(金)までに本会ホームページ
(<http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s7/sympo19.html>)の第19回空気シンポジウム申込書をダウンロード後、必要事項を記入の上、大成ツーリスト小山宛に FAX (番号 03-5330-5051)でお申し込みください。後日、請求書とご案内書をお送りします。
- ◆問合せ 学会事務局研究事業部 酒井

以上